

## 小学生ソフトテニス全国大会 第3位の栄冠に輝く

7月27日から30日まで高知県で開催された第23回全日本小学生ソフトテニス選手権大会の男子個人戦で竹田小学校6年生のペア、津本真太・田中俊輔組(和田山ジュニア所属)が第3位に入賞しました。

津本君と田中君は、今年からペアを組み、週4回、多い日には6時間の練習をこなしており、今年、初めて出場した全国大会で第3位入賞という快挙を成し遂げました。

ノーシードから勝ち上がった津田・田中ペアは、1回戦で群馬県のペアに4・0、2回戦は宮城県ペアに4・0、3回戦でも岡山県のペアに4・0と順調に勝ち上がり、4回戦では滋賀県のペアに4・1と初めてゲームを取られたものの、5回戦でも山口県のペアに4・2と勝利し、準々決勝に進出しました。

ベスト8の対戦する準々決勝では鳥取県のペアと対戦し、ゲームカウント4・0と圧勝。準決勝に進出しました。

準決勝では今大会優勝した奈良県のペアと対戦。第4ゲームを終わって2・2の接戦となり、第5ゲームを5・7で惜しくも落とすと、続く第6ゲームも2・4で取られ、残念ながら決勝進出はなりませんでしたが、見事、第3位の栄冠に輝きました。



賞状  
賞状

## 郷土出身選手の活躍光る

8月6日から11日まで大阪市で開催された全国高校総体(インターハイ)の卓球・女子シングルス(参加220人)で和田山町出身の須磨睦さん(岡山・就実1年)が第3位に入賞しました。

須磨さんは昨年の全国中学大会2位。ジュニア日本代表として海外遠征にも参加した実力を発揮。準々決勝で中山翠選手(大阪・四天王寺)に4・2で勝利し、準決勝ではこの大会、世界選手権団体銅メダルの福原愛選手(青森・青森山田)を4・0で降して優勝した先輩の宇土弘恵選手(岡山・就実)と対戦し、1・4で惜しくも敗れたものの、1年生ながら、第3位に入賞する快挙を成し遂げました。



左から、2位 福原、優勝 宇土、3位 王、3位 須磨 ▶

## 知っていますか? 「男女共同参画」に関わるこんな言葉 その③

### 『育児・介護休業法』(認知度 61.5%)

育児・介護休業法は「育児休業・介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」の略称です。

育児休業は、平成7年から、介護休業は平成11年から事業主の義務となっています。

育児又は家族の介護を行う労働者の職業生活と家庭生活との両立が図られるよう支援することによって、その福祉を増進するとともに、あわせて我が国の経済及び社会の発展に資することを目的としています。

次世代育成支援を進めていく上でも大きな課題となっている育児や介護を行う労働者の仕事と家庭との両立をより一層推進するために、平成17年4月から育児・介護休業法が改正されました。

育児休業・介護休業の対象労働者が一定範囲の期間雇用者に拡大されるほか、一定の場合の育児休業期間の延長、介護休業の要介護状態ごとの複数回取得可能となり、また、子どもの看護休暇が取得できるようになりました。

### 『エンパワーメント』(認知度 4.5%)

力(パワー)をつけることの意です。女性のエンパワーメントは、女性が自分自身の生活と人生を決定する権利と能力を持ち、さまざまなレベルの意思決定過程に参画し、社会的・経済的・政治的な状況を変えていく力をもつことを意味します。

女性はこれまで権力から排除されてきました。そんななかで、自分のために、自分の内から発し、自分を支える力、生きぬく力を育んできました。このような力は結果として、他人に影響を与えたり、動かしたりします。一人ひとりが力をつけることが、別の人の方を力をつけることになり、グループ全体の力を高めていきます。

女性が力をつけ、権力の内、すなわち意思決定の場でその力を発揮することは、単なる女性の地位向上に止まらず、新しいビジョンや価値観をつくることでもあります。新しい世界の構築につながることを期待されています。